



カケハシ・プロジェクト（米国） アジア系米国人青少年招へい（APAICS）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などについて理解を深め、参加者同士が交流を深めてネットワークを強化することを目的に、3月12日から3月18日まで、全米各地からアジア太平洋圏議会研究所（APAICS：Asian Pacific American Institute for Congressional Studies）から推薦を受けた10名のアジア系米国人青少年を招へいしました。東京都と秋田県を訪問し、ホームステイを通じて日本文化に触れ、最先端技術についても学び、日本に対する理解を深めました。また、参加者各々が日本の魅力や学びについて対外発信しました。

【参加者】米国のアジア系青少年（大学生・大学院生）9名及び引率者1名 合計10名

【訪問地】東京都、秋田県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

3月7日（金曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

3月12日（水曜日） 成田国際空港及び羽田空港より入国
【来日時オリエンテーション】
3月13日（木曜日） 【学校交流】テンプル大学 ジャパンキャンパス（TUJ）
【視察】日本科学未来館
【表敬訪問】内閣総理大臣補佐官 長島 昭久 氏
東京都から秋田県へ移動
3月14日（金曜日） 【視察】田沢湖周遊・角館武家屋敷通り
【講義】「仙北市のインバウンドグリーンツーリズムの取り組みについて」
講師：仙北市観光文化スポーツ部交流デザイン課 課長 伊藤 カオリ 氏
【ホストファミリー対面式】
3月15日（土曜日） 【ホームステイ】秋田県仙北市
3月16日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】
【文化体験】オリジナル醤油ボトルラベルづくり（安藤醸造）
秋田県から東京都へ移動
3月17日（月曜日） 【視察】国会議事堂

【視察】浅草

【視察】東証 Arrows

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

3月18日（火曜日）

【表敬訪問】外務大臣政務官 英利 アルフィヤ 氏

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

成田国際空港及び羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



2025年3月13日【学校交流】
テンプル大学ジャパン キャンパス（TUJ）



2025年3月13日【視察】日本科学未来館



2025年3月13日【表敬訪問】
内閣総理大臣補佐官 長島 昭久 氏



2025年3月14日【視察】田沢湖周遊



2025 年 3 月 14 日【視察】角館武家屋敷	2025 年 3 月 14 日【講義】「仙北市のインバウンドグリーンツーリズムの取り組みについて」
	
2025 年 3 月 14 日【ホストファミリー対面式】	2025 年 3 月 15 日【ホームステイ】
	
2025 年 3 月 16 日【ホストファミリー歓送会】	2025 年 3 月 16 日【文化体験】オリジナル醤油ボトルラベルづくり（安藤醸造）
	
2025 年 3 月 17 日【視察】国会議事堂	2025 年 3 月 17 日【視察】浅草
	
2025 年 3 月 17 日【視察】東証 Arrows	2025 年 3 月 18 日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

テンプル大学との学校交流は、非常に印象的でした。日本で学ぶ米国人学生と話げできたことは、大変素晴らしいことでした。私が米国でこれまで経験してきたこととは違ふ観点で、日本での生活、勉強や仕事の仕方について教えてくれました。

◆ 大学生

このプログラムの中で私が一番気に入ったのはホームステイです。日本の田舎を体験することに興味がある外国人は沢山いますが、このようなホスピタリティのある宿が存在しているということを、彼らは知らないと思います。日本の人々と実際に繋がるということは、人気のある観光地を訪れることに勝る、素晴らしいことでした。米国にもうすぐ帰国しますが、このグリーンツーリズムの側面を伝えることが、最も楽しみなことです。

◆ 大学生

このプログラムを通して、最も心に残った思い出は、秋田を訪れたことです。ホームステイは素晴らしいものでした。なぜなら、私はそこで人生で初めて雪を見たからです。ただシンプルに、空から舞い落ちてくる雪を経験しました。私達のホストファミリーは、大変可愛らしく愛すべき人達でした。お互いを本当に思いやる愛情に溢れたご夫婦でした。神社などの訪れた場所も心に残りました。というのも、私は自分の人生の中で神社を訪問してみたいといつも思っていたからです。美しい場所と人々に出会い、とても素敵な時間を過ごしました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

仙北市について理解を深めようと、このプログラムに真摯に取り組む姿勢が講義後の質疑でも感じられ、非常に感心しました。来日後に初めて対面したメンバーとのことでしたが、日を追う毎に仲良くなつて団結する様子が見られ、また受け入れ家庭との絆もできており、仙北市での行程が有意義なものであったのだなと思いました。

◆ ホストファミリー

外国人だからといって身構えず、お互いの文化を理解しあい寛容な心で接することができました。テレビのニュースからはわからない生の米国人の声を聞くことができて楽しかったです。英語をもっと勉強したいです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

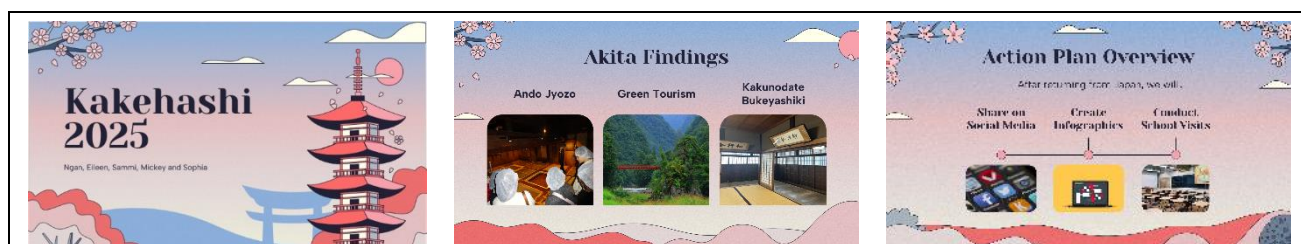
	
2025 年 3 月 13 日 (Instagram) 米国 大学生 この大学のことは、間違いなく私の心の片隅に残るでしょう。大規模すぎず、メンバー同士の絆が強いところが魅力的です。それに加えて、ここは本当に美しい場所です。もし機会があれば、皆さんも是非訪れてみてください。	2025 年 3 月 15 日 (Instagram) 米国 大学生 仙北市 2 日目 私達のホストファミリーは、農家をしていて、ゲストは日本の田舎を体験できます。仙北市が促進するグリーンツーリズムと呼ばれるものです。ホストファミリーに温室を見せていただきました。用意してくださるほとんどの食事に、畑から採れたばかりのお野菜が入っていました！
	
2025 年 4 月 2 日 (テンプレ大学ジャパンキャンパス (TUJ) MiM の Instagram) TUJ のマネジメント修士課程 (MiM) プログラムは、3 月 13 日に JICE との連携により実施されたカケハシ・プロジェクトの訪問を歓迎しました。カケハシ・プロジェクトは、日本の外務省が推進する草の根交流プログラムであり、米国からの参加者を日本に招き、特定の分野における体験と知識の深化を目的としています。TUJ は、日本と他国間の異文化理解促進において、これらの取り組み	2025 年 3 月 17 日 (秋田県仙北市交流デザイン課の X) 「カケハシ・プロジェクト訪日団が来仙しました」 外務省が推進している国際交流プログラム「対日理解促進交流プログラム」カケハシ・プロジェクト (米国) の一環で 3 月 13 日から 3 月 16 日にかけて仙北市でアジア系米国人 10 名の受け入れを行いました。仙北市にきて下さりありがとうございました！ 2025 年 3 月 17 日 (秋田県仙北市交流デザイン課

みを強く支持しており、今後とも継続的に協力して参ります。今回の訪問では、MiM プログラムの現役学生たちが、熱意ある参加者を温かく迎え入れ、プログラムの概要を紹介しました。	の Facebook) (前略) 訪日団一行は、田沢湖周遊・角館武家屋敷通りを視察し、角館庁舎にて当市のインバウンドグリーンツーリズムの取り組みについて講義を受けた後、ホームステイ受入家庭で 2 泊過ごしました。仙北市滞在最終日の歓送会では、訪日団より「最高だった!」、「素晴らしい景観と人々のあたたかさを感じた」といった感想をいただき、受入家庭からは「受け入れをして良かった、楽しかった」との感想をいただきました。お別れの時間には感極まる場面もあり、お互いにとって素晴らしいホームステイ交流になったのではないかと思います。そして最後は安藤醸造本店で蔵見学をし、仙北市の視察は終了となりました。 今回訪日団が体感した仙北市の魅力を多くの方に発信していただけることを期待しております。仙北市にお越しいただきありがとうございました!
---	---

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表 (抜粋)

訪問地：東京都、秋田県 全 2 グループ発表

グループ A	
	PROSPECTS: How we will apply our experience • Pursue JET Program & Career Opportunities in Japan • Promote Political and Social Cooperation during Fellowship • Highlight Local Businesses in Rural Communities in Future Projects • Build relationships with ACTION PLAN • Publish Educational YouTube Documentary • Create Video Blog on Instagram Reels • Share with Experience Catholic University Community • Curate Japanese-Inspired Illustrated Portfolio 
【訪日中の学び】 海外での学生生活について学びました。また、インド太平洋地域における核拡散防止に関する日本の役割について知見を深めました。更に、地域経済促進におけるグリーンツーリズムの役割や伝統的な日本の生活の価値についても学びました。 【個人的展望】 日本での就業や JET プログラムへの参加、フェローシップを通して社会政治的協力を促進すること、今後のプロジェクトで地方のビジネスに注目すること、関係性を築くことなどを展望として考えています。 【アクション・プラン】 2025 年 6 月中頃までに、訪日団の各自が地元で、YouTube に教育的ドキュメンタリーを載せること、Instagram でビデオブログを作成すること、自分の所属する大学においてプログラムの経験を伝えること、日本についてのイラスト入りポートフォリオを作成することを実行する予定です。	
グループ B	



【訪日中の学び】

東京では、テンプル大学、日本科学未来館、長島総理補佐官表敬訪問等を通して、自分らしい表現方法を見つける・確立することの大切さ、iPS 細胞を初めとする日本の技術力、核軍縮への日本の役割等について理解を深めました。また、秋田では、安藤醸造への視察、グリーンツーリズムについての講義、角館武家屋敷の視察を通して、味噌・醤油作り、農泊、昔の日本の階級社会等について学びました。更に、ホームステイでは、細部まで注意を払うこと、他者への配慮やホスピタリティについて学びました。

【個人的展望】

日本の大学院に行くこと、日本での生活や就業機会を考えること、JET プログラムやフルブライトを通して日本で英語を教えること、地元の日米の NGO 活動に参加すること、カケハシの同窓生として関係を保っていくこと、日本語学習をすること等を個人的展望として考えています。

【アクション・プラン】

- ・ SNS を使用した情報共有 :
YouTube、Instagram、 LinkedIn を使用してカケハシ・プロジェクト、仙北市、日本への留学等についての情報共有を行います。
- ・ インフォグラフィック（情報を視覚的に伝える図やイラストのこと）の作成と共有 :
日本へ旅行する可能性のある人を対象に、仙北市のホスピタリティビジネスを推進するため、仙北市のウェブサイトや自分達の経験をもとに、仙北市のグリーンツーリズムについてのインフォグラフィックを作成し、2025 年 4 月に旅行サイトや旅行会社に共有します。
- ・ 学校訪問 :
高校生・大学生を対象に、日本を就業や留学の対象として推奨するため、リサーチを実施し、2025 年 4 月～5 月の間に、日本での就業機会や留学についてのプレゼンテーションを行います。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）